

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・中九州横断道路「朝地～竹田間」が開通(H31.1)。「竹田～阿蘇間」の早期事業化及び中津日田道路「三光本耶馬溪道路」の整備を促進。「耶馬溪道路」「日田山国道路」の整備支援について国への要望活動を引き続き実施した。 ・中津日田道路「中津～田口間」が開通(H31.3)。別府湾スマートIC上り線が開通(H30.8)。 ・中津日田道路のうち耶馬溪道路では舗装や照明を除く、トンネル本土工を完了するなど整備を推進した。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・県、沿線市町などで構成する日豊本線高速・複線化大分県期成同盟会において、日豊本線の高速・複線化について国、JR九州に対し要望を行った。 ・東九州新幹線の整備計画路線への格上げに向けて、県民機運醸成のためのシンポジウムの開催や国への要望を行った。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・国道326号黒土橋など緊急輸送道路上の橋梁を対象として、落橋を防ぐ耐震対策を実施した。 ・災害時の輸送の代替性を確保するため、東九州自動車道の4車線化に向け、国や関係機関への要望活動を引き続き実施し、「宇佐IC～院内IC間」及び「大分宮河内IC～津久見IC間」の一部で新規事業化された。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(30年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	元年度の方向性	
①	(公)道路改良事業	17,785,480	-	-	245
③	道路施設補修事業	8,949,685	-	-	241
	港湾整備事業	1,703,220	-	-	243

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○土木建築委員会への市町村長要望(H30.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路「中九州横断道路」の「朝地～竹田間」の早期開通と「竹田～阿蘇間」の早期事業化に配慮をお願いしたい。 ・地域高規格道路「中津日田道路」の「日田山国道路」の早期工事着手、「耶馬溪道路」・「三光本耶馬溪道路」の早期完成及び、耶馬溪町から山国町間の計画路線の早期事業化をお願いしたい。 ・東九州自動車道の鹿児島までの全線完成に加え、暫定2車線区間の4車線化に向け配慮をお願いしたい。 	<p>○大分県商工会議所連合会知事要望(H30.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州横軸や九州の一体的な発展を図るため、地域高規格道路中九州横断道路(竹田～阿蘇間)の早期事業化に特段のご配慮をお願いしたい。 ・北部九州の産業活性化や地域経済の発展、更には広域観光の振興のため、「中津日田道路」建設促進について特段のご配慮をお願いしたい。 ○経済5団体「東九州新幹線の早期実現について」の要望(H30.11) ・東九州新幹線の早期実現について特段の配慮をお願いしたい。
--	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・中九州横断道路の「竹田～阿蘇間」はR1年度に新規事業化された。ただし、中九州横断道路や中津日田道路などの地域高規格道路は未だ整備途上であることから、人や物の流れを活性化させ、観光や産業を発展させる地域高規格道路の整備を推進する。 ・重大事故の危険性が高く、緊急車両の到着遅延などの課題がある東九州自動車道暫定2車線区間の4車線化整備を促進する。 ・東九州新幹線の整備計画路線への格上げに向けて、国等へ強く働きかけていくとともに、特に将来を担う若い世代に活発に議論していただく観点からも、シンポジウムや説明会を通じて、若年層を含む幅広い世代への周知を行い、県民の機運醸成を図る。